

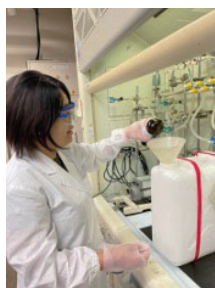
今号の技術推進部コーナーでは、7月に新しく入所した技術職員の自己紹介記事をお届けします。
担当する装置や具体的な業務内容について詳しく紹介していますので、ぜひご覧ください。



着任のご挨拶 機器分析ユニット 萬代 恭子

2025年7月1日付で着任いたしました、萬代恭子と申します。安全衛生管理室の業務、マテリアル先端リサーチインフラ事業や大学連携研究設備ネットワークの運用、そして質量分析担当としての業務に携わらせていただきます。

これまでは大学で研究員として勤務しておりましたが、今回、初めて研究の現場を離れ、技術職員として研究を支える立場を担うこととなりました。学生時代には、X線や電子線を利用した分析手法により、鉱物に含まれる微量重元素の挙動を明らかにする研究に携わり、その後は有機合成化学の分野に転じて、触媒反応やフローリアクターを用いた高速反応などの反応開発を行ってまいりました。国内外の様々な大学や研究室で活動する中で、分析技術の重要性はもちろん、安全管理やマネジメントが研究を円滑に進めるうえでいかに大切であるかを痛感しております。



また、研究員として受け入れてくださった先生の多大なご理解とご支援により、子育てと研究の両立に葛藤しながら途切れることなく研究活動を続けてまいりました。子どもが成長し、家庭環境がある程度落ち着いたことを機に、自身のキャリアを見つめ直し、これまで培った経験を活かしつつ、さらに責任ある仕事に挑戦したいという気持ちが強まり、今回の応募に至りました。貴重なご縁をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

与えられた業務に対して、まず自分にできることを見つけながら、研究がより発展するように、一つひとつ取り組んでまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

技術推進部活動報告 かなえ Activity Report 2024



1993年度より、技術課の業務内容や何ができるのかについて皆様に知って頂くことを目的に発行してきました。「かなえ」というタイトルは、井口元所長の「技官、教官、事務官は3本足の鼎である」という言葉より、技術課が真の3本足の鼎となることを願い命名されました。法人化後、かなえは業務報告集という性格が変わったため、この期間のかなえは一般閲覧を取りやめさせて頂いておりますが、2010年度にリニューアルして原点に戻りました。



最新号（2025年5月発行）は下記よりご覧ください。
https://tech.ims.ac.jp/sites/default/files/kanae40_0.pdf